



平成 26 年 9 月 10 日
第三管区海上保安本部

【問い合わせ先】 電話 045 - 211 - 0773

警備救難部 救難課 (人身事故、海浜事故担当)

救難課長 濱田 哲郎 (内線3250)

交通部 企画課 (船舶事故担当)

企画課長 西 雄二 (内線2610)

夏季の「海の安全運動」 夏のマリンレジャー安全推進活動 7月・8月の事故発生状況 **速報値**

(7月1日~8月31日の2か月間)

第三管区海上保安本部では、マリンレジャーが活発となる7月1日から8月31日までの2ヶ月間、「小型船舶の海難防止」及び「遊泳者、釣り愛好家及びダイバーへの事故防止」を重点事項とし、集中的な海難防止活動、マリンレジャーの安全推進活動を実施しました。

この間における船舶事故及び人身事故の発生状況(速報値)は次のとおりです。

1 人身事故・船舶事故の発生状況

(1) 人身事故(マリンレジャー活動に伴う海浜事故)(別添1参照)

マリンレジャー活動に伴う海浜事故者数(80人)に対する死者・行方不明者数(22人)及び死亡率(28%)が過去5年間で最少

種類別では、「遊泳中」の事故者数(44人)が全体(80人)の約6割と最多で、「遊泳中」の死者・行方不明者数(20人)は全体(22人)の9割

「遊泳中」のうち年代別では、「20歳代」以下の若者の事故者数(22人)が「遊泳中」(44人)の5割、死者・行方不明者数(11人)が「遊泳中」(20人)の5割強を占める。若者の死者・行方不明者は、過去5年間で最多

【過去5年間の夏季安全推進期間における事故者数の推移】

	22年	23年	24年	25年	26年
事故者数(人)	74 (35)	91 (29)	86 (34)	69 (26)	80 (22)
うち「遊泳中」	43 (23)	49 (15)	51 (20)	36 (20)	44 (20)
うち「20歳代」以下	20 (7)	25 (7)	27 (8)	18 (6)	22 (11)

・ ()内は死者・行方不明者数で再掲

・ 「マリンレジャー活動」とは遊泳、釣り、磯遊び、スキューバダイビング、サーフィン等をいう。



(2) 船舶事故 (別添2参照)

事故隻数 (84 隻) は過去 5 年間で最多

重点事項である小型船舶では、プレジャーボート等 (プレジャーボート及び遊漁船) の事故隻数 (55 隻)、漁船の事故隻数 (13 隻) であり、それぞれ過去 5 年で最多

事故の種類では、プレジャーボート等は機関故障 (11 隻) が、漁船は転覆 (4 隻) がそれぞれ最多

花火大会に伴うプレジャーボート等の事故 (5 隻) は昨年に引き続き過去 5 年間で最多

なお、上記船舶事故による死者・行方不明者は 2 人であり、船舶事故によらない乗船者の海中転落による死者・行方不明者は 4 人

【船舶事故の推移】

単位：隻

	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年
船舶事故	63	81	66	66	84
プレジャーボート等	44	55	48	52	55
漁船	4	11	7	2	13
貨物船、タンカー、旅客船、作業船等	15	15	11	12	16

【船舶事故による死者・行方不明者の推移】

単位：人

	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年
死者・行方不明者数	0 (3)	3 (3)	3 (0)	0 (0)	2 (4)
プレジャーボート等	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
漁船	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)
貨物船、タンカー、旅客船、作業船等	0 (2)	0 (3)	3 (0)	0 (0)	0 (1)

・() 内は船舶事故によらない乗船者の海中転落による死者・行方不明者数を参考併記

2 事故の事例と教訓

(1) 人身事故

携帯電話とライフジャケットの着用が功を奏した事例

29 歳男性は磯場において一人で釣りをしていたところ、足を滑らせ海中転落、自力で上がろうとするも引き波で沖に流されたが、ライフジャケットを着用し、かつ携帯電話を持っていたことから、自ら救助を求め、要請を受けた漁船により無事救助された。

飲酒後に遊泳禁止海岸にて遊泳して溺死した事例

24 歳男性は、飲酒のうえ、友人 2 人とともに遊泳禁止海岸で遊泳中、深みにはまったことから、海岸に戻ろうとするも波をかぶり行方不明となった。4 日後に

愛します! 守ります! 日本の海



付近海岸に漂着し、遺体で発見された。

若者が無謀な遊泳をして溺死した事例

18歳男性、19歳男性の2人は、台風11号が日本南岸に接近中にもかかわらず、友人3人とともに遊泳禁止海岸で水遊びをしようと手を繋ぎ横並びで海に入ったところ、背丈を越える高波を受け、波に揉まれ行方不明となった。3日後に両人とも付近海岸に漂着し、遺体で発見された。

(2) 船舶事故

機関故障：出港前の点検を十分行っていれば防げた事例

水上オートバイ(3名乗船)は、周遊する目的で港を出港後、間もなく機関が停止し再起動しないため、付近しょう戒中の当庁巡視船に救助を求め救助された。(原因：潤滑油不足によるエンジンの焼き付き)

乗揚：航行中の適切な見張りを行っていれば防げた事例

クルーザーボート(14ト、7名乗船)は、視界不良(視程500m)の中、レジャー目的で島嶼部向け出港後、操作に不慣れなGPSプロッターの設定操作に傾注していたため、見張りが疎かになり岩場に乗揚げた。

3 今後の安全指導の方向性

第三管区海上保安本部では、今後とも安全指導活動を積極的に実施して、事故の未然防止を図るとともに、死者・行方不明者の減少を図るため、プレジャーボート乗船者や釣り愛好家等へ「自己救命策3つの基本」の啓発等の安全指導を推進していきます。

[自己救命策 3つの基本]

ライフジャケットの常時着用

防水携帯電話等の連絡手段の確保

海上保安庁緊急通報用番号「118番」の有効活用

[トピック]

教職員を対象とした「海の安全教室」の開催(8月11日広報関連)

当管内の各海上保安部署においては、これまで、若年齢層に対するマリレジャーの安全推進活動の一環として、小中学校等を直接訪問しての児童・生徒に対する講習会を実施し、海の安全思想の普及を図ってきましたが、普及効果をより高めるため、本年度から、教職員を対象とした講習を開始しました。

この活動により、児童・生徒における海の安全思想の裾野が広がることで、若年齢層の事故者、死亡・行方不明者の顕著な減少に期待を寄せています。



4 期間中の活動状況

小型船の安全指導活動を各所で積極的に実施



マリンレジャー愛好者に対する安全啓発活動を実施



教職員を対象とした『海の安全教室』を開催

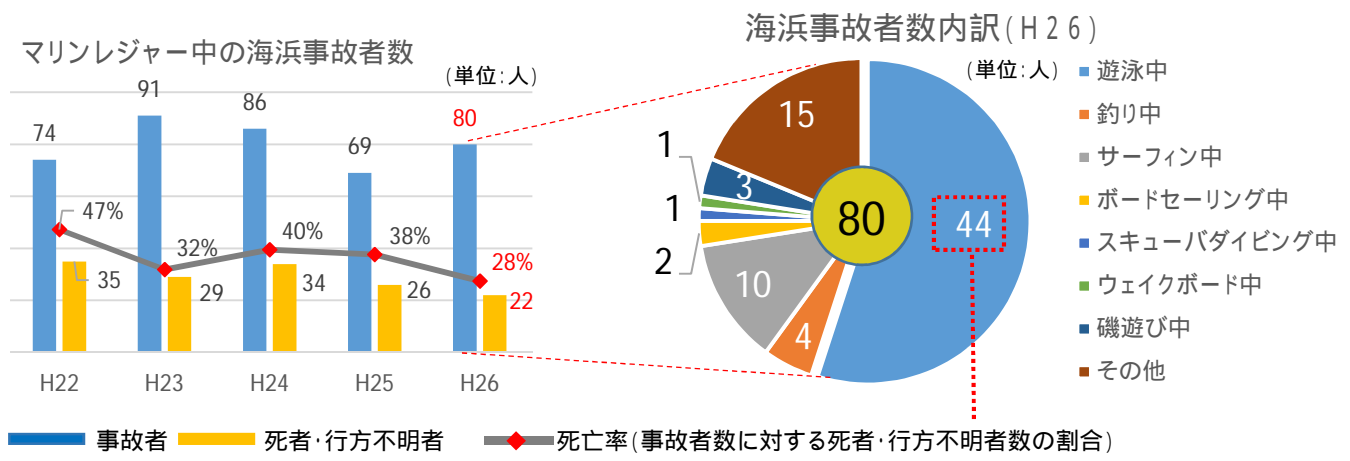


「海の安全運動」の周知・広報活動を実施

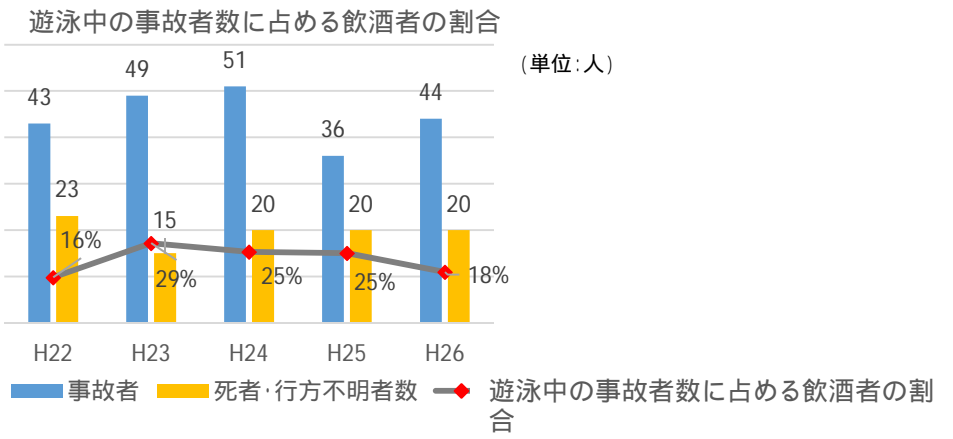


マリレジャーに伴う海浜事故の傾向（過去5年間の7月・8月）

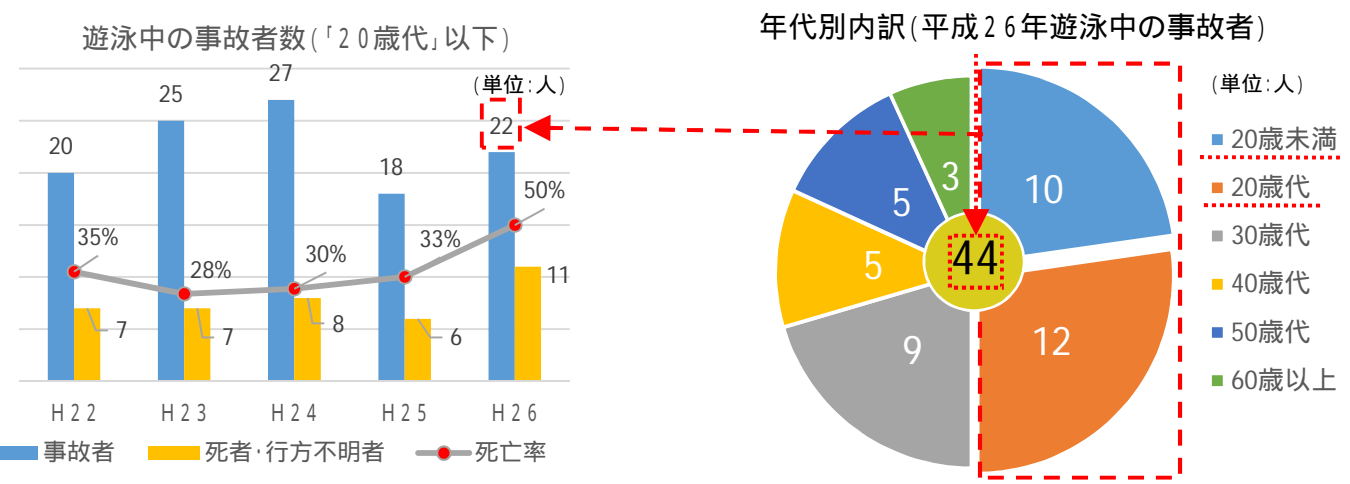
マリレジャー活動に伴う海浜事故者数(80人)に対する死者・行方不明者数(22人)及び死亡率(28%)が過去5年間で最少
 種類別では、遊泳中の事故者数(44人)が全体(80人)の約6割と最多で、「遊泳中」の死者・行方不明者数(20人)は全体(22人)の9割



「遊泳中」の事故者数に占める飲酒者の割合は、依然として2割前後で推移



「遊泳中」のうち年代別では、「20歳代」以下の若者の事故者数(22人)が「遊泳中」(44人)の5割、死者・行方不明者数(11人)が「遊泳中」(20人)の5割強を占める。若者の死者・行方不明者は、過去5年間で最多

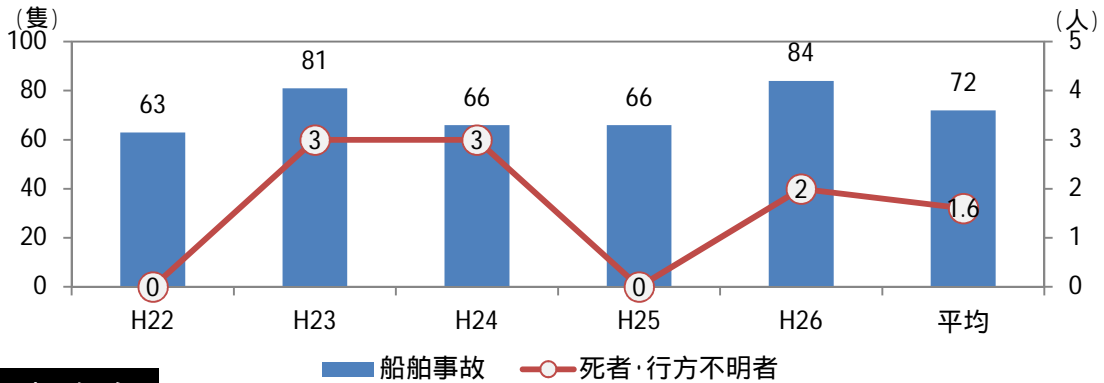


船舶事故発生状況

船舶事故全体の傾向

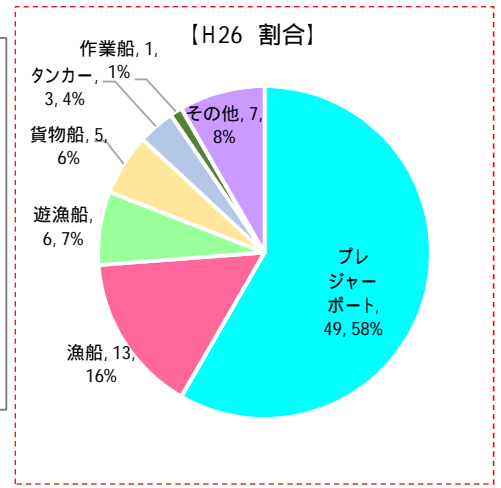
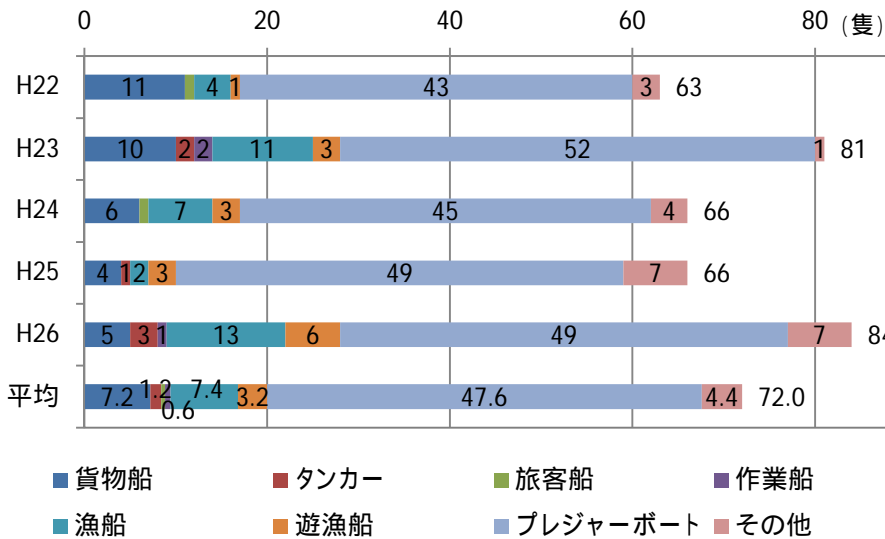
過去5年間の夏季期間(7月～8月)に発生した事故の傾向(以下同様)

事故隻数は過去5年間で最多となる84隻となり、平均を大きく上回る
死者・行方不明者は2名(漁船による転覆海難2隻2名)



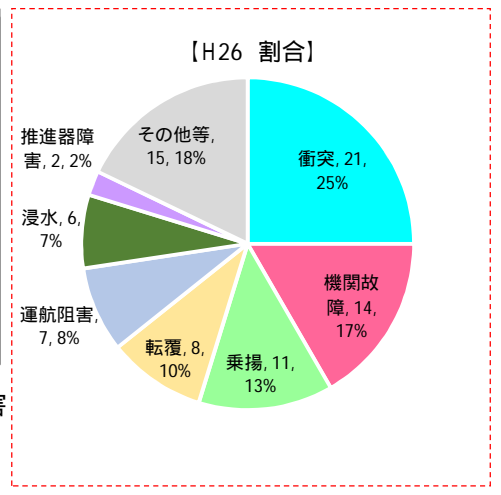
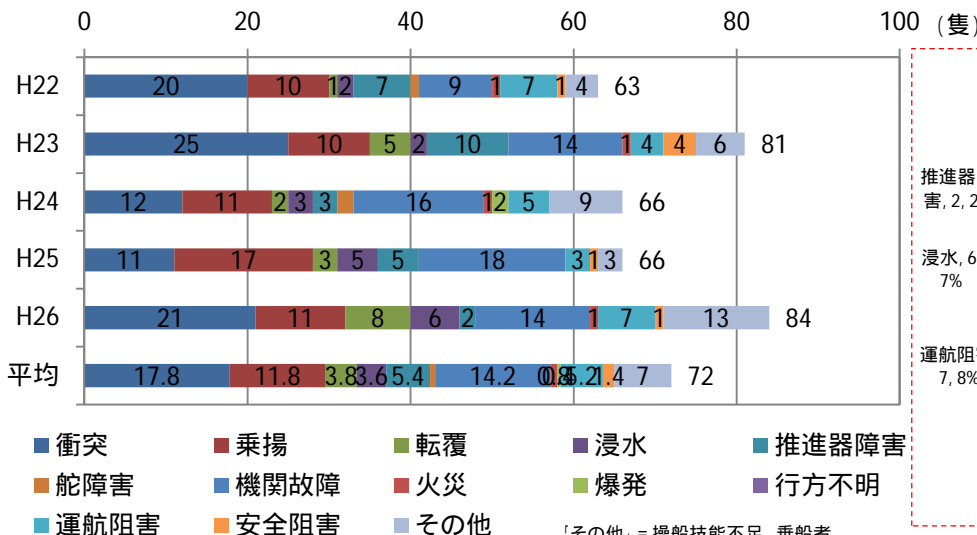
船舶用途別の傾向

依然としてプレジャーボートが最も多く、58%を占める
漁船による海難が増加し、過去5年間で最多の13隻(16%)となった



事故種類別の傾向

「衝突」が最も多く25%を占め、次いで「機関故障」(17%)、「乗揚」(13%)の順に多い
昨年少なかった衝突が大幅に増加し、昨年多発した乗揚と機関故障が減少した



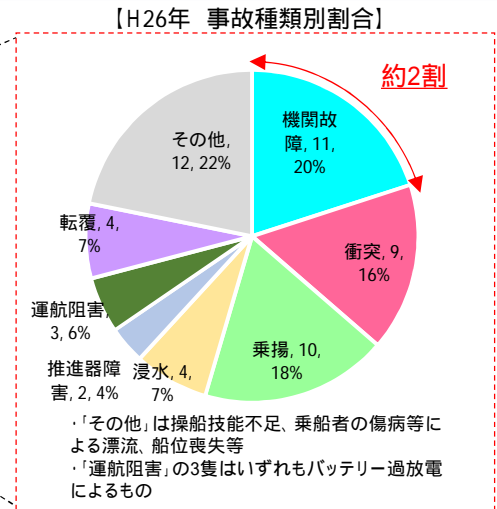
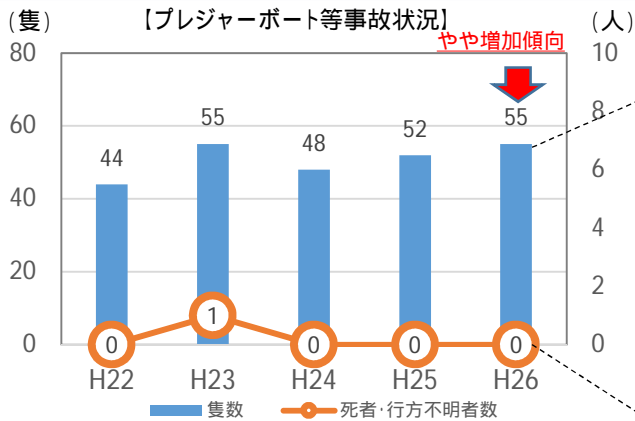
「その他」= 操船技能不足、乗船者の傷病等による漂流、船位喪失等

プレジャーボート及び漁船による事故発生状況

プレジャーボート等の事故傾向

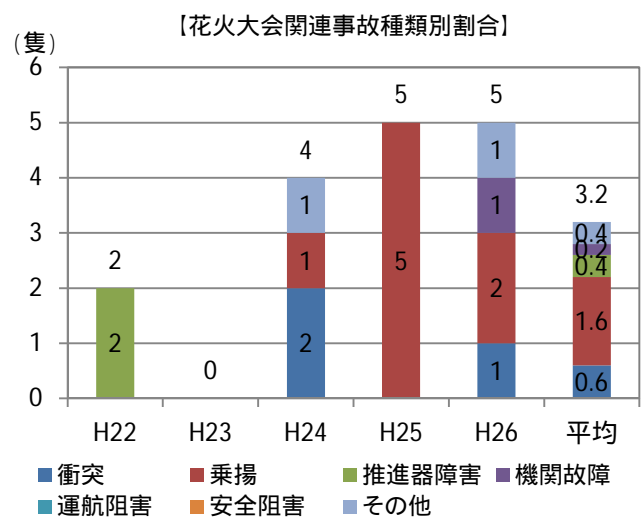
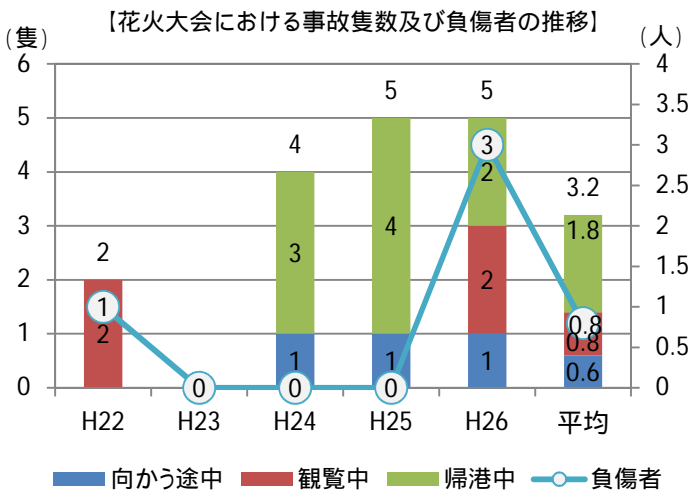
過去5年間の夏季期間(7月～8月)に発生した事故の傾向(以下同様)

事故隻数は過去5年間で最多の55隻(平成23年と同数)、死者・行方不明者は無し
 事故の種類別では「機関故障」が最も多く20%を占め、次いで「乗揚」、「衝突」の順に多い



花火大会関連の事故状況

プレジャーボート等による花火大会に伴う事故が昨年に引き続き過去5年で最多



花火大会における事故種類
 H26は乗揚2隻、衝突1隻、機関故障1隻、その他1隻、
近年、乗揚の割合が多い!

漁船の事故傾向

事故隻数は過去5年間で最多の13隻
 事故種類別では「転覆」が最も多く4隻、死者・行方不明者の2名はいずれも1人乗り漁船の転覆による

